

災害時に

## しっかりとした停電対策を!!



にじ  
横山和雄 議員  
が問う！

3月16日福島県沖地震における本市の災害対応について

電気の供給が滞ると医療機関等では人の生命が危ぶまれることから、災害時における重要施設への電気供給は必要であると考える。現代社会における停電対応は非常に重要であり、今回の対応を検証し、しっかりとした対策を練る必要があると考え、伺う。

**Q.** 停電対応について問う。

**A.** 今回の地震では、市内の広範囲で約1日間に及ぶ停電が発生した。市地域防災計画では、大規模災害時に停電が発生した場合、病院等の緊急に電力供給を必要とする施設に対する応急復旧を東北電力

## 一般質問

その他の  
質  
問

○太陽光発電設備について



**Q.** 避難所対応について問う。

**A.** 市は、市地域防災計画において、津波注意報、警報等が発令された場合の緊急的な避難場所として、津波時の一時避難場所を7か所、津波時の指定緊急避難場所を16か所指定している。発令時には、まずは、速やかに最寄りの高台にある指定緊急避難場所等に避難していただくことが重要であり、その後、被害の状況によりご自宅に戻ることが困難な場合や、避難が長期化すると考えられる場合は、市で開設した避難所へ移動していただくこととしている。

今後、自主防災組織の訓練や広報紙、防災メールなどを通じて、あらためて周知していく。

その他の  
質  
問

○3. 16に発生した福島県沖地震の被害について



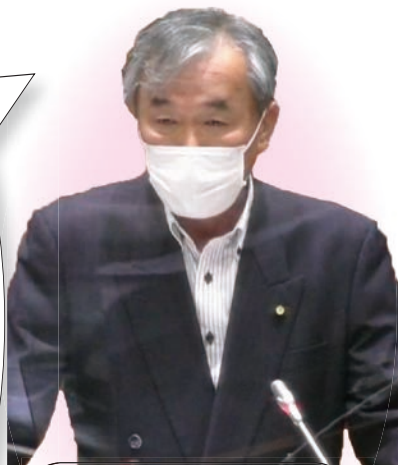
**A.** 令和4年度からの新たな取組として、市消防団の全面的な協力をいただき、地域の消防団が各学校の避難訓練に参加する「防火避難訓練」を実施している。地域の消防団と学校との連携が強くなることにより、有事の際の対応力が高まることを期待するところであり、次年度以降も継続していきたいと考えている。

**Q.** 今後の取組みについて問う。

市教育委員会としては、今後とも防災教育を市学校教育の重点の一つとして位置づけ、各学校がこれまでの防災教育の実践を継続しながら、地域や学校の実態に合わせて、さらに効果的な訓練、取組ができるよう、防災担当指導主事を中心として必要な支援を行っていきたいと考えている。

全国市長会会長就任による

市に及ぼす影響は!!



そうま市民の会  
浦島勇一 議員  
が問う！

全国市長会会長就任にあたって

6月1日、全国市長会会長の3期目任期がスタートした。新型コロナウイルスの影響による経済の低迷や地震を始めとする自然災害への危機管理対応等、課題山積の中で、人知れずそのご苦労もあろうかと思うが、地方自治の進展と住民福祉の向上・推進にご奮闘、ご活躍を期待して質問する。

**Q.** 3期目就任に於ける政策課題と本市に及ぼす影響について問う。

**A.** 去る6月1日、第92回全国市長会議（通常総会）において、全国市長会会長に選任いただき、

その他の  
質  
問

○3. 16 福島県沖地震の対応について



全国市長会が入っている  
全国都市会館

☆全国市長会は、全国の市長（特別区長を含む）が組織された政治の中枢として、地方の発展に寄与しています。

引き続き3期目の会長の任を務めることになった。これまでの4年間の全国市長会会長の職務として、特に自然災害への対応や新型コロナウイルス感染症への対策などを行ってきたが、この経験を今後に生かすことはもとより、デジタル田園都市国家構想をはじめとするデジタル社会への推進、ウクライナ情勢による経済低迷への対策など、全国市長会長として積極的に取り組む所存である。

会長就任に当たった市の及ぼす影響については、4年間、市が遭遇した自然災害に対し、全国からのご支援をいただいたことは、全国市長会会長に就任していることが要因の一つであると思料している。

また、新型コロナウイルスの接種についても、私が行ってきた厚生労働省や内閣府との協議を踏まえ、スムーズなワクチン接種を市において行うことが可能であったことも一つの効果ではなかったかと思料している。